

ふるさと納税 お香づくりの体験型返礼品

【支援の背景】

平賀石材店は、墓石の製造販売を主な事業としています。近年、墓石販売の売上が減少傾向であることから、新たな事業プランの作成を目的に、令和元年度にビジネスプラン構築研修に参加いただきました。

同社が構築した事業「笑活（えみかつ）」は、お香づくり体験講座やハンドリフレなどの提供を通じ、お墓に関する相談や販売などにつなげるような相乗効果を狙った事業です。

研修修了後、この事業を開始し、体験講座やマルシェでの周知活動などにより多くのファンを獲得するとともに、公式 LINE や Instagram などの SNS の活用により顧客とのつながりを作ってきました。

数年に渡りこの事業を継続した結果、リピーターも徐々に現れ始めたため、当センターに、「新たな市場を開拓したい」との相談がありました。

【支援内容】

当センターでは、低コストかつ速やかに「お香づくり体験講座」の新たな市場の開拓を試せる場として、ふるさと納税サイトの活用を提案するとともに、その申請の支援やサイトで目を引き、返礼品として選ばれやすくするための方法などを指導しました。

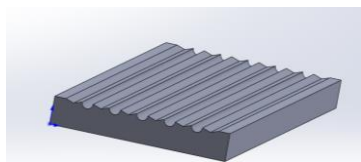
一般的に、ふるさと納税を考えている人（納税者）は、数多くの返礼品の中から目的のものに辿り着くために、キーワード検索を行います。そこで、納税者の目に触れる機会を増やし、返礼品として選ばれる可能性を高めるため、「検索結果画面に多くの当該社の返礼品が表示されるように、納税者の興味や関心などを細分化し、多様な返礼品を登録する」方法を提案しました。

具体的には、お香体験講座のアイデアを夏季限定や財布香、線香づくりなど複数に分け、さらにそれぞれ人数ごとのコースも設けるなど、計 10 案件の体験の申請書作成および登録のサポートを行いました。このように、様々な種類の返礼品を登録することで、納税者の多様なニーズに対応できるなど、副次的な効果も期待できます。

令和 7 年 2 月時点で、ふるさと納税サイトに「香 体験」で検索すると 20 件ヒットし、その上位に当該社の返礼品が固まって表示されています。（返礼品は令和 6 年 9 月からふるさと納税ウェブサイトに掲載されており、今後の申込が期待されます。）



図 1 返礼品



このほか、当センター保有の 3D プリンタを活用し、お香づくり体験講座で棒状のお香を作製する際に使用する型（図 2）の試作を支援したほか、今後の事業展開を見据えて、当センター主催の初歩的セミナーやアイデアブレスト（本成果集 29 ページ）に参加するなど、伴走型の継続した支援を行っています。

図 2 型の試作用 3D データ

基礎となった事業		令和 6 年度 新ビジネスチャレンジ事業			
担当グループ	新ビジネス支援 G	グループ長	石川 章弘	TEL:029-293-7495	
		主任研究員	久野 亘央		
		主 任	高岡 諒		
		会計年度職員	関谷 正尊		